

9月定例会の内容をおつたえます!

Vol.

88

2025.12

ふじかわぐちこ 議会だより



町長さんと語る会



Contents

9月定例会(第3回)

代表質問

一般質問

決算特別委員会レポート

議員賛否

窓・議会見聞録・編集後記



第8期 町議会スタート

令和7年第2回議会臨時会が10月16日開会されました。

この臨時会は、町議会議員一般選挙後の初議会で、本会議において、議長選挙が行われ、第23代議長に中村拓郎議員が当選し、副議長に堀内詠子議員が就任しました。



議長／中村 拓郎 議員



副議長／堀内 詠子 議員

◆議長就任あいさつ◆

富士河口湖町議会 議長 中村 拓郎

町民の皆様には、平素より町政並びに町議会に対しご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、町議会議員改選後の令和7年第2回臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、第23代富士河口湖町議会議長に就任いたしました。責任の重さを改めて痛感し身の引き締まる思いであります。富士河口湖町のさらなる発展のために誠心誠意職務にあたる所存です。

住みよいまちづくりのために、町民の声を町政に反映させ、次世代へ豊かな郷土を継承したいと考えております。そのために環境保全、防災・減災、教育・福祉の充実、デジタル化への対応、地域産業の活性化などに努力してまいります。

また、私たちの町は、世界に誇る富士山と豊かな自然、そして町民の皆様の温かなおもてなしの心に支えられ、国内外から多くの観光客を迎えてまいりました。観光は本町の基幹産業であり、地域の活力の源でもあります。しかし、同時に観光を取り巻く環境は大きく変化しています。町民の豊かなくらし・地域住民の生活との調和を考慮し、持続可能な観光への転換が求められています。

より身近で開かれた議会となるよう、町民のみなさまの声を大切にし様々な課題に真摯に向き合い、取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、富士河口湖町の未来が希望に満ちたものであるよう、全力で努めることをお誓い申し上げ議長就任のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議会の委員会構成が変わりました

10月の臨時会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

◎委員長 ○副委員長

令和7年10月16日現在

	【議会議長】 中村 拓郎		【議会副議長】 堀内 詠子			
総務常任委員会委員	◎中野 貴民 渡辺 武則	○中村 正明 渡辺 美雄	倉沢 直哉 山下 利夫	渡辺 昭一	五味 菊広	堀内 詠子
文教社会常任委員会委員	◎渡辺 武則 古屋 実	○倉沢 秀 外川 満	楽満 一生 山下 利夫	渡辺 昭一 三浦 康夫	堀内 詠子	中村 拓郎
産経土木常任委員会委員	◎渡辺 美雄 中村 拓郎	○五味 菊広 井出 正広	倉沢 直哉 外川 満	中村 正明 三浦 康夫	楽満 一生	倉沢 秀
議会広報常任委員会委員	◎渡辺 昭一 外川 満	○中村 正明 山下 利夫	楽満 一生	五味 菊広	堀内 詠子	古屋 実
議会運営委員会委員	◎外川 満 渡辺 美雄	○倉沢 直哉 中野 貴民	中村 正明	渡辺 昭一	堀内 詠子	渡辺 武則
富士五湖広域行政事務組合議会議員	外川 満	渡辺 美雄	中野 貴民	三浦 康夫		
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員	三浦 康夫					
青木ヶ原衛生センター議会議員	倉沢 直哉 渡辺 武則	中村 正明 山下 利夫	倉沢 秀 三浦 康夫	中村 拓郎	古屋 実	外川 満
鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員	倉沢 直哉	中村 正明	古屋 実	井出 正広	渡辺 美雄	中野 貴民
河口湖南中学校組合議会議員	中村 正明	渡辺 昭一	古屋 実	井出 正広	渡辺 美雄	中野 貴民
青木が原ごみ処理組合議会議員	倉沢 直哉	楽満 一生	倉沢 秀	渡辺 武則	三浦 康夫	
富士・東部広域環境事務組合議会議員	渡辺 美雄	中野 貴民				
富士河口湖町水道運営審議会委員	中村 正明 山下 利夫	渡辺 昭一	倉沢 秀	古屋 実	井出 正広	中野 貴民
富士河口湖町消防委員会委員	倉沢 直哉	中村 正明	倉沢 秀	渡辺 武則		
富士河口湖町都市計画審議会委員	中村 正明	渡辺 昭一	倉沢 秀	五味 菊広		
富士河口湖町国民健康保険運営協議会委員	倉沢 直哉	楽満 一生	渡辺 昭一	外川 満	山下 利夫	
富士河口湖町介護保険運営協議会委員	倉沢 秀	外川 満	三浦 康夫			
富士河口湖町地下水保全審議会委員	倉沢 直哉	中村 拓郎				
富士河口湖町温泉事業運営審議会委員	古屋 実	渡辺 武則	山下 利夫			
河口湖簡易水道事業運営審議会委員	楽満 一生	五味 菊広	外川 満			
足和田簡易水道事業運営審議会委員	渡辺 武則	三浦 康夫				
富士河口湖町公共下水道審議会委員	中村 正明	渡辺 昭一	倉沢 秀	井出 正広	渡辺 武則	中野 貴民
山梨赤十字病院運営協議会委員	倉沢 直哉	堀内 詠子	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民	
議会改革推進特別委員会委員	◎三浦 康夫	○山下 利夫	全議員で構成			

公開します 議員の賛否

審議した議案とその結果

●令和7年 9月定例会 会期：9/1(月)～9/12(金) 12日間●

(本会議) 議案審議 (9/1、9/12)・代表質問・一般質問 (9/2、9/3) (決算特別委員会) (9/4～9/10)



上程議案・概要・結果	結果	堀内 詠子	中村 拓郎	古屋 実	古屋 幹吉	井出 正広	外川 満	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快	堀内 昭登	三浦 康夫	倉沢 鶴義
令和6年度富士河口湖町歳入歳出決算																
令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計歳入歳出決算 P8～11に記載	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
和解について	賛多	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	—

* 議長は採決には参加しません。 * 議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。
* 他の議案等のについては、全員賛成で可決・採択されました。

令和7年第3回 富士河口湖町議会定例会



決算認定については、令和6年度一般会計、31の特別会計及び公営企業会計について、議会選出の監査委員を除く14名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月4日から10日まで審議しました。審議内容は8～11ページをご覧ください。

河口もみじ回廊

報 告（2件）

○令和6年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

	富士河口湖町の比率			早期健全化 基準	財政再生基準	要 因
	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
実質公債費比率(※1) (3か年平均)	10.7%	10.8%	10.8%	25.0%	35.0%	地方債の元利償還金が増加しているため
将来負担比率(※2)	38.0%	32.0%	22.9%	350.0%	—	地方債残高が減少したため

※1「**実質公債費比率**」とは、一般会計を含む普通会計とその他の対象会計の公債費など（年度の借金返済費用）を含む返済金費用合計が自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。この実質公債費比率が18.0%になると、地方債の発行について県の許可が必要となり、25.0%を超えると「早期健全化団体」となり自主的な改善努力による「財政健全化計画」の策定や外部監査の要求が義務付けられることとなります。また、「財政再生基準」の35.0%以上となった場合、その年度末までに「財政再生計画」を定める必要がでてくることとなります。

※2「**将来負担比率**」とは、地方債残高、債務負担行為など普通会計とその他の対象会計が将来負担すべき実質的な負担額が、自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。したがって、将来負担すべき債務が、自治体会計の規模に対して何倍あるかを示しています。この比率が350.0%を超えると「早期健全化団体」となります。

○令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

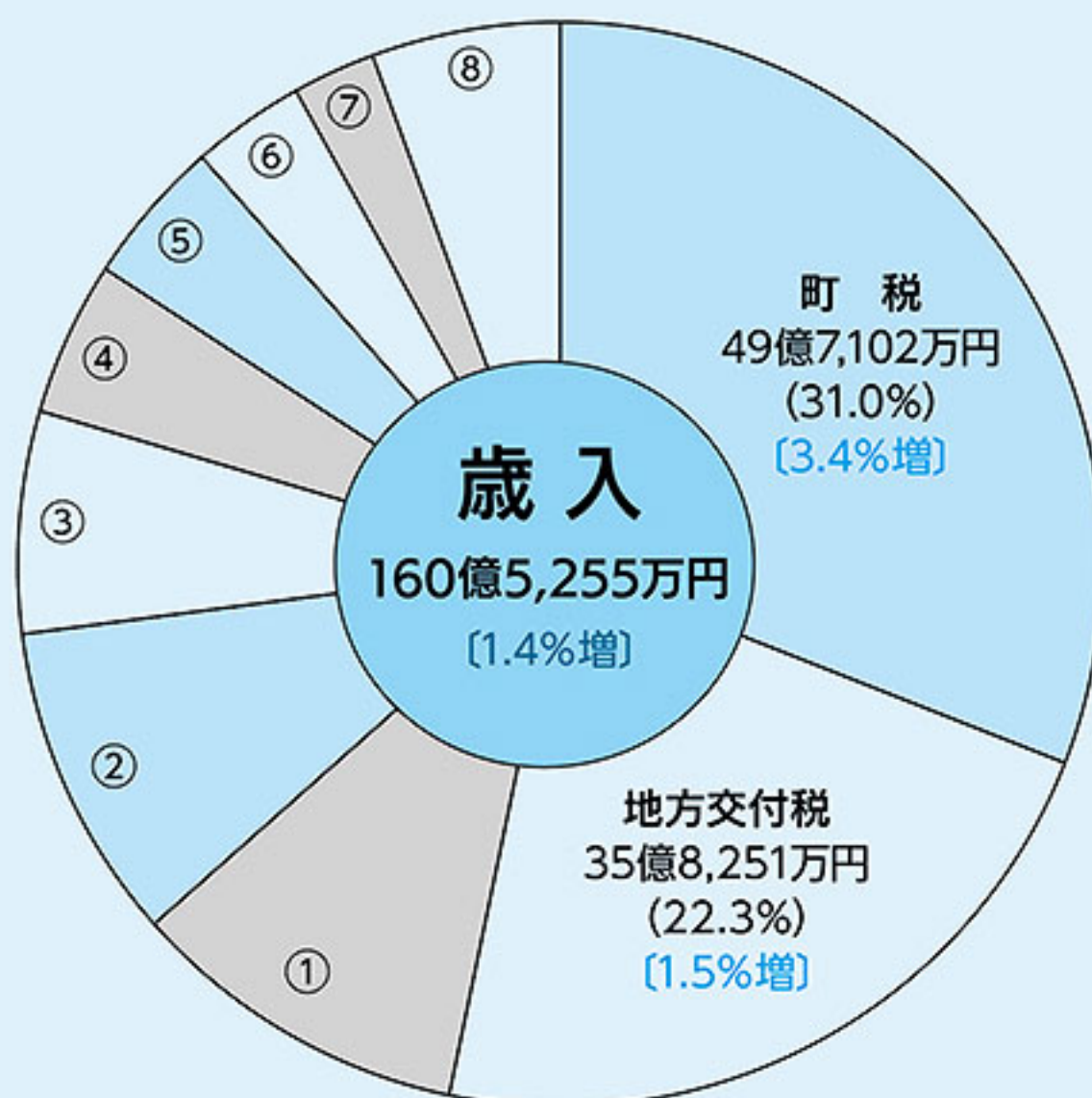
地方教育行政に関する法律の規定により見出しの事務の点検及び評価を実施し、その事業の評価や課題を毎年議会に報告するもので、効率的な教育行政を推進するとともに、これを町民に公表するものです。

詳細については、町ホームページをご覧ください。

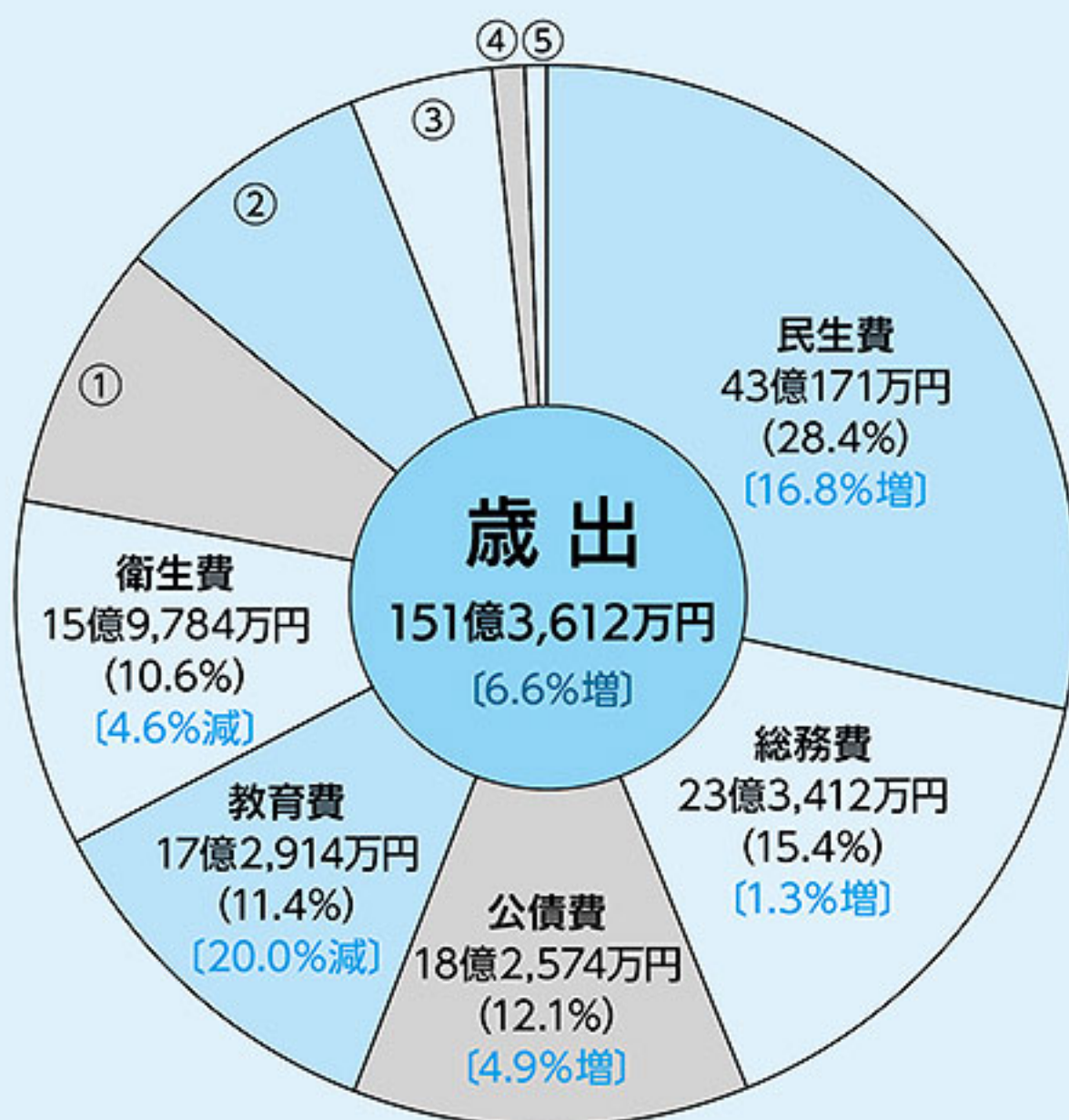
[富士河口湖町ホームページ](#) ⇒ [各課の情報](#) ⇒ [学校教育課](#)

令和6年度 一般会計決算の内訳

①繰越金	16億3,367万円 (10.2%)	[4.9%増]
②国庫支出金	15億2,287万円 (9.5%)	[17.1%増]
③寄附金	10億6,224万円 (6.6%)	[5.3%増]
④地方消費税交付金	7億3,935万円 (4.6%)	[5.3%増]
⑤県支出金	6億9,821万円 (4.4%)	[5.5%増]
⑥繰入金	5億4,282万円 (3.4%)	[46.7%減]
⑦町債	3億9,730万円 (2.5%)	[26.3%減]
⑧その他 (地方譲与税、分担金及び負担金、 使用料及び手数料、諸収入等)	9億256万円 (5.6%)	[28.6%増]



①商工費	12億2,726万円 (8.1%)	[46.3%増]
②土木費	12億1,282万円 (8.0%)	[32.4%増]
③消防費	6億5,800万円 (4.4%)	[1.6%増]
④農林水産業費	1億4,995万円 (1.0%)	[4.2%増]
⑤議会費	9,954万円 (0.7%)	[6.6%増]



※ () 内の黒字は構成率

※ [] 内の青字は前年度との増減率

差引残額 9億1,643万円

令和6年度決算の概要

歳入においては、地域経済や観光需要の回復に伴い、町内企業の業績が改善し、設備投資も活発化したことから、法人住民税や固定資産税が増額となった。

歳出においては、社会保障関係経費や道路等のインフラ整備のほか、定額給付金調整給付事業や低所得者世帯支援給付金事業、配合飼料補助金、商品券事業などの物価高騰対策を実施したことに加え、小学校・保育所の給食費無料化や高校生までの医療費無料化、保育料無償化など、子育て支援策を継続して実施している。



令和7年

9月定例会(第3回)

………こんなことが決まりました………



9月定例会(第3回)のあらまし

9月定例会(第3回)は、9月1日から12日までの12日間の会期で開かれました。代表質問には2会派、一般質問には4名の議員が登壇し、議論がかわされました。

提出案件は、報告、条例改正、補正予算、財産の取得、同意案件など25件で、審査の結果、すべて原案のとおり可決しました。

条例改正

- 富士河口湖町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

【内容】地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う改正

- 富士河口湖町立保育所条例の一部改正

【内容】町立精進・本栖保育所の廃所に伴う改正

町道路線廃止

- 勝山字梓木原4154番、町道6212号線、9.53m

財産の取得

- タブレット端末(小中学校学習用)

取得金額: 3,090万円

取得の相手: 株式会社エーティーエルシステムズ

請 願

- 「学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」

請願者: 南都留地区PTA協議会会長 渡邊敏昭
他3名

紹介議員: 古屋幹吉、外川満

結 果: 全員賛成

(国の関係機関に意見書送付)

同意案件

- 富士河口湖町農業委員会委員

かじはら 梶原 広	とがわ 外川 新吉	あいざわ 相澤 武義
わたなべ 渡邊 聖一	ほりうち 堀内 吉森	ほりうち 堀内 保
くらさわ 倉澤 唯佳	やまざき 山崎 猛	くらさわ 倉澤 吉郎
さすが 流石 昭	みうら 三浦 圭二	みうら 三浦 くにたけ 邦武
しみず 清水 利幸	きたざわ 北澤 良男	

- 船津財産区管理委員

みうら 三浦	みちやす 道安
--------	---------

- 大石財産区管理委員

ほりうち 堀内 久雄	ほりうち 堀内 三壽夫
------------	-------------

- 河口財産区管理委員

たかやま 高山 一広	なかむら 中村 順司	ふるや 古屋 利光
------------	------------	-----------

- 西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区管理委員

たかやま 高山 一広	なかむら 中村 順司	ふるや 古屋 利光
------------	------------	-----------

- 長浜財産区管理委員

かじはら 梶原 博義	みうら 三浦 孝明
------------	-----------

- 西湖財産区管理委員

わたなべ 渡辺 要助	みうら 三浦 政昭	わたなべ 渡辺 美男
みうら 三浦 清英		

- 青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区管理委員

わたなべ 渡辺 健司	わたなべ 渡辺 洋文	わたなべ 渡辺 要助
わたなべ 渡辺 美男	みうら 三浦 久	さとう 佐藤 良一
わたなべ 渡辺 博		

…………こんなことが



決まりました…………

一般会計補正予算(3号)

勝山児童館木製ウッドデッキ改修



141万円

……………
ウッドデッキの経年劣化によりささくれ等ができており児童がケガをするおそれがあるため、人工デッキに改修する工事を行います。

船津リサイクルセンター駐車場 砕石舗装工事



200万円

……………
リサイクルセンター駐車場が、雨水が溜まりやすくなっているため、砕石の敷きなおしと一部簡易舗装工事を行います。

- 山梨赤十字病院運営費補助金 8,214万円
- 定額減税不足額給付金 8,000万円
- 消防団員運転免許更新補助金 50万円

- 道路舗装修繕工事(6路線) 2億3,900万円
- 八木崎公園駐車場整備工事 3,500万円

臨時会情報 令和7年第2回臨時会が10月16日に開かれました

同意案件

●富士河口湖町監査委員

外川 満

●船津財産区管理委員

中野 貴民

●小立財産区管理委員

古屋 実 渡邊 美雄

●大石財産区管理委員

五味 菊広

●河口財産区管理委員

中村 拓郎

●西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区管理委員

中村 拓郎

●勝山財産区管理委員

倉澤 直哉 倉澤 秀

●富士河口湖町河口湖治水委員会委員

倉澤 直哉 中村 正明 楽満 一生

渡邊 昭一 倉澤 秀 五味 菊広

中村 拓郎 渡邊 美雄 山下 利夫

三浦 康夫

7月から10月までの議会の動き(一部掲載)▶

7月

- 8日 議会広報常任委員会(初校)
- 11日 町村議会広報研修会
- 17日 議会広報常任委員会(2校)
- 23日 議会広報常任委員会(最終校)
- 23日 町村議会議長会議
- 29日~30日 議長・議運委員長行政調査

8月

- 7日 富士・東部広域環境事務組合議会定例会
- 19日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会
- 25日 全員協議会
- 25日 議会運営委員会

- 25日 富士五湖広域行政事務組合議会定例会
- 26日~27日 監査委員協議会行政調査

9月

- 1日~12日 定例会
- 17日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会定例会
- 17日 河口湖南中学校組合議会定例会

10月

- 3日 町村議会議員研修会
- 15日 富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会
- 16日 第2回臨時会
- 28日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会臨時会



町の予算が どう使われたかを 審議

令和6年度決算

決算特別委員会

委員長 渡辺 美雄

副委員長 小佐野 快

富士ヶ嶺簡易郵便局特別会計

工事請負費が全額不用額の理由は

●佐藤安子委員

工事請負費が全額不用額になっているが。

●地域防災課長

エアコンの工事費を予算計上したが、出張所備品のスポットクーラーで対応したため工事費が不用額となった。



富士ヶ嶺簡易郵便局

国民健康保険特別会計

資格確認書を発行した人数は

●山下利夫委員

国保加入者で、資格確認書※を発行した方、マイナ保険証をお持ちの方はそれぞれ何人か。

●住民課長

資格確認書を交付した方は9月1日現在1,719人。このうちマイナ保険証を持っているが、施設入所などの理由で申請により資格確認書を交付した方が142人。また、マイナ保険証をお持ちの方は3,551人。

※資格確認書・・・マイナンバーカードを持っていない方、また、マイナンバーカードと保険証の紐づけをしていない方に発行される。

介護保険特別会計

当町の介護保険事業の状況は

●山下利夫委員

令和6年度の要介護1～5、要支援1・2の方の訪問介護と通所介護の利用者数は、計画値と比べてどうか。

●健康増進課長

いずれも利用者数は、計画値より少なかった。元気はつらつ教室、筋力アップ教室、百歳体操などの事業の実績が反映されていると考える。

●山下利夫委員

人材確保に苦慮する介護事業所の現状を町としてどのように認識しているか。

●健康増進課長

介護事業所にアンケートを行っているが、現在のところ、ほとんどが「人材不足を感じている」との回答である。その対策として、外国人の積極的雇用を行っている事業所もあると聞いている。

一般会計

戸別受信機の貸与状況は

●山下利夫委員

防災無線が聞こえにくいとの声が多い。現在貸与されている聴覚・視覚障害者以外の高齢者など希望者への戸別受信機貸与は可能か。

●地域防災課長

防災アプリ、CATV、安心安全メールなどの活用を推奨しているが、ツールを持たない方もいる。希望があれば個別に実情を調査し、必要に応じて貸与している。昨年度は4件、本年度は1件の設置。

●山下利夫委員

必要な方には柔軟に対応いただいているとのこと。今後も対象を広げ、より多くの高齢者に行き届くよう検討をお願いしたい。



奨学金返還支援の不用額の原因は

●山下利夫委員

令和6年度から始まった奨学金返還支援の決算額が304万9,000円と、当初予算1,000万円に対して不用額が多く出ている。原因は何か。

●政策企画課長

制度設計の際に県制度との整合に時間を要し、申請開始が12月1日以降となったため受付期間が短かったことが一因。また、予算積算時は上限額24万円×40名を見込んでいたが、実際の申請者は22名で、償還額も月1万～1万6,000円程度と上限に満たず、結果として約223万円の差が生じた。

●山下利夫委員

今年度の申請状況はどうか。

●政策企画課長

今年度は7月1日～9月30日を申請期間とし、8月末時点で12件。うち継続8件、新規4件。今後、昨年度申請者にも漏れがないようショートメール等で周知を進める。

●山下利夫委員

申請者が少ない印象である。対象拡大などを検討して、より多くの方に活用してもらいたい。

奨学金返還支援利用者の就労状況は

●佐藤安子委員

奨学金返還支援を受けた22名の就労先はどのような業種か。

●政策企画課長

令和6年度の内訳は、製造業7人、観光業6人、医療系4人、一般事務4人、美容師1人。幅広い職種で活用されている。

●佐藤安子委員

職種が多様であるのは良いが、申請件数が伸び悩んでいる。町内就労条件の緩和なども検討すべき。

健康科学大学新入生支援は

●山下利夫委員

健康科学大学新入生への商品券支給について、令和6年度と過去年度の人数比較は。

●政策企画課長

令和6年度は107人、令和5年度は122人、令和4年度は127人で、15人ほど減少している。

●山下利夫委員

大学生支援として大変喜ばれている。新入生だけでなく在学生にも支援の拡大を検討いただきたい。また、昨年から始まった「富士山暮らし応援カード」について、配布枚数は。

●政策企画課長

令和6年2月から開始し、累計717枚を配布。うち健

康科学大学生への配布が594枚で、本年新入生114名にも配布済み。

●山下利夫委員

学生の地域定着と地元経済の活性化につながる取組として、ぜひ継続していただきたい。



健康科学大学

外出支援事業の支給人数と内訳は

●山下利夫委員

高齢者外出支援事業の支給人数332人の内訳や過去3年間の推移は。

●福祉推進課長

高齢者外出支援事業の推移は、次の表のとおりである。

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
タクシー	272	271	288
バス	49	53	44
計	321	324	332

高外

富士河口湖町タクシー乗車券

No.

利用者氏名

河口湖 太郎

利用年月日

利用区間

乗車表示額

円

高外 (初乗り運賃)

¥

有効期限

令和8年 3月31日

富士河口湖町長

渡辺 英之

※本券は、運賃支払いの際、タクシー乗務員に必ずお渡しください。
※本券は、本人以外使用できません。また、譲渡・貸与もできません。
※有効期限を過ぎたものは、使用できません。

タクシー乗車券

障害者・家族の相談窓口は

●山下利夫委員

障害者やその家族が困ったときに相談できる窓口と、その周知方法は怎么样了。

●福祉推進課長

福祉推進課や富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」、富士ふれあいセンターなどで対応しており、周知は福祉のしおりで行うほか、今後は福祉推進課ホームページでも分かりやすく掲載する予定。



高齢者スマホデビュー 応援事業の実施状況は

●佐藤安子委員

令和6年度に新設された高齢者スマホデビュー応援事業の予算100万円に対し、決算額が3万円となった理由は。

●福祉推進課長

初めてスマホを持つ方に1万円を助成する事業で、広報したものの応募者が少なく、今後も周知・利用促進に努めていく。

鳥獣被害駆除事業の 過去3か年の捕獲頭数は

●山下利夫委員

決算年度のシカ591頭、イノシシ96頭、サル7頭に
え、過去3か年の捕獲状況は。

●農林課長

捕獲頭数は、次のとおりである。

(単位:頭)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
シカ	541	614	574
イノシシ	30	65	66
サル	4	12	13
計	575	691	653

鳥獣被害対策の内容は

●山下利夫委員

町としての鳥獣被害対策については。

●農林課長

町では農作物を守る防護柵設置者への費用半額補助や、新規狩猟者の狩猟免許取得費の補助、小型野生動物用捕獲器の貸出などを実施している。さらに、クマに関する注意喚起チラシの作成・配布や、クマの目撃情報を町のホームページで公開し、注意喚起するなど、町民や観光客への情報提供を行っている。



まちなかWi-Fi整備は

●山下利夫委員

まちなかWi-Fiを整備した施設はどこか。

●観光課長

河口湖駅、船津浜、大池公園、八木崎公園、大石公園、小海公園など観光施設の周辺に設置。さらに、役場庁舎、生涯学習館、町民体育館、中央公民館、各出張所、福祉センターなど、防災拠点となる公的施設にも設置した。

商品券事業の活用状況は

●山下利夫委員

昨年度の物価高騰対策商品券(1人3万円)について、どの業種で多く活用されたか。また、以前は500円券と1,000円券があり、大規模店での使用制限があったが、今後の配布事業の考え方はどうか。

●観光課長

昨年度の商品券は、小売業で約82%、飲食業で約10%、サービス業で約7%、観光業・医療で約1%が使用された。以前の事業は大規模店での使用制限があったが、昨年度は物価高騰対策として住民支援を重視し、使用条件を設けなかった。今後も住民への物価高騰支援を主眼に、社会情勢を見ながら計画していく。

木造住宅耐震診断の結果は

●佐藤安子委員

当初予算で10戸予定の耐震診断について、総合耐震診断の結果、0.7未満の改修対象は何件だったか。また、今後のフォローや補助の活用についてどのように考えているか。

●都市整備課長

今回の10件すべてが総合耐震診断で0.7未満であった。診断のみで改修はまだ実施されていない。今後は、予算125万円の範囲内で安全な部屋づくりなど、業者と相談しながら改修を進め、命を守る事業として活用していく。

公民館の空調整備は

●中村拓郎委員

勝山地区公民館の空調工事が行われた。暑い夏の対応として中央公民館や他の地区公民館も計画的に進めていただきたいが。

●生涯学習課長

利用者からも強い要望をいただいている。厳しい財政状況ではあるが、計画的に空調を入れ替えるように予算要求していく。



勝山地区公民館ホール



ふじサンサンプランの見直しは

●堀内詠子委員

ふじサンサンプラン見直しの外部委託料400万円のうちコンサルタントを選ぶポイントは。

●政策企画課長

目標の実現に向けた課題の整理、国県や町の基本方針や政策との整合性、本町の具体的方策について検討を行うことができる業者としている。

●堀内詠子委員

性別の視点、共生社会の視点、地域の実情を反映できるかが評価の対象になっているか。

●政策企画課長

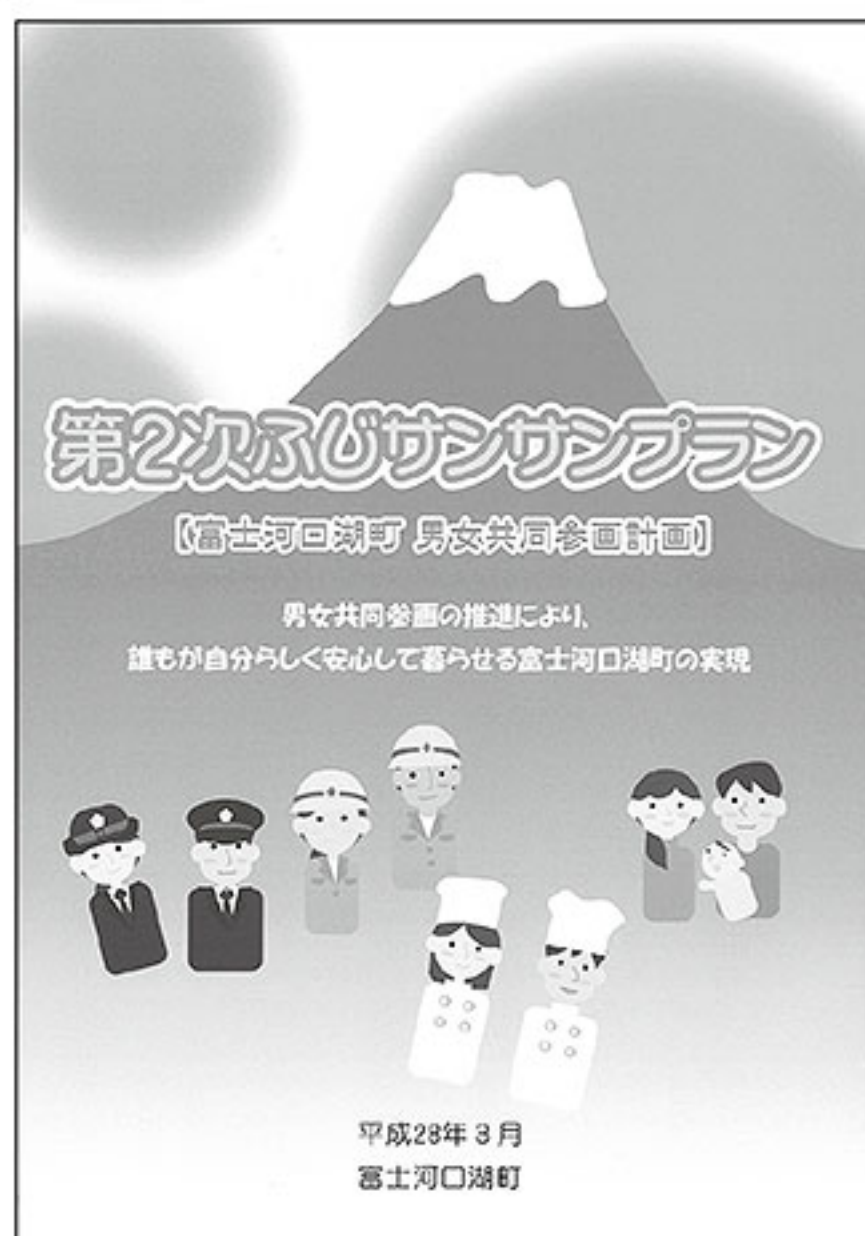
仕様書において、業務の目的を性の多様性および多文化共生について考慮した計画にすることを明記している。

●堀内詠子委員

住民が意見を出せる機会の確保は。

●政策企画課長

アンケート調査を行っており、反映させたいと考えている。



現行のふじサンサンプラン

有利な町債の活用を

●山下利夫委員

決算年度の町債の発行額は3億9,730万円となっている。地方交付税措置される金額は。

●総務課長

地方交付税措置される金額は1億3,454万円。

100%交付税措置される臨時財政対策債、70%交付税措置される緊急防災・減災事業債、緊急自然災害防止対策事業債を利用している。

●山下利夫委員

引き続き有利な起債の活用をお願いする。

オーバーツーリズム対策は

●山下利夫委員

オーバーツーリズムの問題がクローズアップされた年度となった。白タクや民泊の影響などオーバーツーリズムの問題は深刻化している。広く関係機関と連携を図っていくために、太宰府市などで行われているようなオーバーツーリズム対策会議を立ち上げるべきでは。

●町長

オーバーツーリズムの問題が発生している場所が限定的であるため今のところ対策会議の設置は考えていない。今後、他にも影響があるようであれば検討する。

自主財源の安定確保を

●倉沢鶴義委員

自主財源率は一昨年度55.1%、昨年度53.6%となっている。自主財源の安定確保が重要だと考えるが町長の考えは。

●町長

自主財源の確保だけでなく交付金や国県からの補助金確保も首長の一つの役目。財源確保に今後一層邁進する。

●倉沢鶴義委員

ふるさと納税は、ふるさとに恩返しするという考えが基本。自主財源の確保が必要不可欠では。

●町長

宿泊税も含めて今後の財政運営に対応していく。





代表質問

町民と共に歩む会

代表質問者 中村 拓郎

代表 中野 貴民
倉沢 鶴義 堀内 昭登
渡辺 武則 中村 拓郎

物価高騰対策は

Q 物価上昇が続く中、持続可能な支援体制の構築が求められる。物価高騰に対する町の現状認識と、課題は。

A 総務課長
物価上昇に賃上げの伸びが追いつかない状況であり、賃金と物価上昇の好循環の実現は、今が重要な局面にある。さらには、働く場所の確保と人口減少社会における働き手の確保が重要であると認識している。

Q さらに支援策として、生活支援給付金や公共料金の軽減、プレミアム商品券の発行など、今後の取組は。

A 政策企画課長
日本経済の動向や国、県の補助制度の状況を注視しながら、特に即効性と経済波及効果の高い商品券事業など、効果的に実施していきたい。

関連質問 中野 貴民

Q 物価高騰対策として、ガソリン価格に対して取り組んでいることがあるか。

A 政策企画課長
現時点では特化しているものはないが、くらし応援商品券は、給油や燃料の購入にも利用できるもので、有効にご活用いただきたい。

さらなる子育て支援策は

Q 町内の保育受入れ体制の現状と、これまでの保護者からの主要要望と町の対応は。

A 子育て支援課長
主要要望は、職場復帰時の受入れ先が兄弟姉妹でありながら異なる保育所になってしまう。希望する保育所へ入れない、新年度当初も受け入れてほしいなどの声がある。

共働きが増えており、未満児の保育所入所希望者が増えている。調整をしているが同じ保育所に入所できない場合がある。

また、子供の情緒安定を図りスムーズに集団生活に移行できるよう、慣らし保育を行っている。新しい環境や生活リズムに慣れるための大切な期間となるため、保

護者には苦勞をおかけするが、ご理解をお願いしたい。

Q 継続入所児童の年度当初の短時間保育について、有料でも受け入れていただきたいとの声もある。子育て中の保護者への支援体制、特に早朝・延長保育同様に新年度当初の受入れを拡充する考えはあるか。

A 子育て支援課長
年度当初のクラス替えによる教室の準備、また入園式の準備や保育体制、環境を整える大事な期間である。極力保育できるよう尽力しているが、年度当初は準備する時間を必要とするため、ご理解をお願いしたい。

Q 保育士の人員体制の現状と人員確保の取組は。

A 子育て支援課長
現状は、国の保育士配置基準を満たした中で体制を整え、さらに支援が必要な幼児には職員を加配し、安全に保育できる体制で運営している。人員が不足した場合はハローワークや広報による周知、また職員の知人を勧誘する等により確保している状況。

関連質問 中野 貴民

Q 行政と民間が連携し子育て支援をする環境が重要。給与補助や育児休暇に積極的に取り組んでいる企業に、入札参加要件に加点する等、インセンティブを与える仕組みも必要ではないか。

A 子育て支援課長
国や県の動向を見ながら、子育てを支援する企業に対してどのような支援や取組ができるか考えていく。

Q 自治会未加入世帯が増え、地域のつながりが薄れている中で、自治会への補助等、地域で子育てをするという環境整備も必要ではないか。

A 子育て支援課長
自治会費への補填、補助上乗せは考えていないが、地域ぐるみでの子育て支援として、各地区公民館まつりや育成会等の親子行事により地域交流の拡充を図り、継続的な支援を行っていきたい。

外国籍児童の教育支援は

Q 町内の外国籍児童・生徒の学年別人数や国は。

A 学校教育課長
人数は26人で、その内町立の学校へ通っている小学生は、船津小11名、小立小1名、河口小2名の計14人、中学生はいない。

国は、中国、ネパール、フィリピン、その他3か国となっている。

Q 学校現場からどのような声が届き、多文化共生の視点から、町として現在どのような取組をしているか。

A 学校教育課長
山梨県から専門の指導者を派遣し、週1回の取り出し授業を実施している。また学校生活支援員がポケット等ICTツールを活用し児童と意思疎通を図り、保護者の不安や疑問に適切に対応できる体制に努めている。

Q 誰一人取り残さない教育の実現に向けて、今後の展望は。

A 学校教育課長
多文化共生を促進する環境教育の整備を進める。具体的には、異文化の理解を深め、世界共通語として広く認識されている英語の拡充を進めていきたい。

▶ 関連質問 中野 貴民

Q 日常生活においても、保護者が気軽に相談できる窓口等の取組はあるか。

A 学校教育課長
保護者の相談は、主に担任教員や管理職が対応を行っている。日本語の説明が難しい場合には、ポケットなどICT機器を活用してコミュニケーションを図る取組を行っている。

Q やさしい日本語教室はあるか。また国際交流協会等でどのような取組をしているか。

A 政策企画課長
やさしい日本語教室は、令和4年度から毎年開催し、15名前後が参加している。今年度は災害対策をテーマに8月27日に実施し、12名の参加があった。

また、町の国際交流協会では、日本の娯楽文化や食文化の体験イベントの開催、外国籍住民による料理教室の開催など、外国の食文化にも触れる機会をつくり、双方向の交流を実施している。

さらに、今年度は新規事業「多文化共生交流事業」を4回開催する予定で、既に6月と8月に実施した。

イベント時の駐車場は

Q イベント時に限り会場近くの駐車場を有料化すると、渋滞が緩和され、さらに警備費や清掃費等、イベント運営の一部に充てることも可能であり、財政的にも有益と考えられるが。町の考えは。

A 観光課長
河川敷駐車場などは難しい。精進湖畔では、地区の創造会議の規定で有料化が可能となったため、涼湖祭で、河川敷駐車場を有料とした。本栖湖、西湖の創造会議でも、地域の意向を確認しながらルール改正を考えていく。

河口の紅葉まつり時の町有駐車場は、今年度まで無料開放する約束で県から払下げを受けている。来年度

は有料化を検討していきたい。

また、今年の湖上祭で実施した空き地等を有料で利用する「軒先パーキング制度」等も利用しながら、活用を図っていきたい。

Q イベント時以外の公共駐車場有料化は、来場者の負担増やにぎわいが低下する懸念もあるが、利用ルール（町民及び宿泊者は無料等）の明確化や、公共交通の利用促進と併せて進めることで渋滞も緩和され、地域住民の安心・安全につながるのではないか。

A 観光課長
船津浜駐車場や大石公園駐車場などは、河川敷自由使用の原則を理由に断念している。河川敷以外の駐車場は、利用頻度と施設整備費、人件費等を比較検討し、導入を検討していきたい。



大石公園駐車場

▶ 関連質問 中野 貴民

Q 湖上祭での軒先パーキングや精進湖涼湖祭の駐車場有料化は、スムーズに運営できたので、他のイベントでも取り組む考えはあるか。

A 観光課長
湖上祭での軒先パーキングや精進湖涼湖祭での駐車場有料化などは、今後も継続し、他のイベントも有効性を検討し実施していきたい。

Q 学校のグラウンドを駐車場として開放することもあるが、雨天時は整備に多額の費用が必要となる。費用を捻出するためにも、利用者から料金を徴収し、学校教育のためにも使うようにすれば、保護者や学校の理解も得られやすいと思うが。

A 観光課長
イベント時の駐車場に係る経費は、有料化に伴う人件費、費用負担などを考慮し、現在検討中である宿泊税の使途などと比較しながら、より有効的な制度で実施していきたい。



代表質問

町民クラブ

代表質問者 三浦 康夫

代 表 三浦 康夫
渡辺 美雄 井出 正広

富士北麓のゴミ不法投棄対策について

Q 富士山が世界文化遺産に登録されてから12年経過した現在も富士山周辺のごみの不法投棄など環境問題が顕在化している。8月10日に民放のテレビ番組でこの問題が放映され、町長もインタビューに答えていたが町ではどの程度「ゴミの不法投棄問題」を把握しているのか。また、清掃活動等の環境保護活動を実施しているのか。

A 環境課長
不法投棄については、山梨県、市町村、警察署等で構成されている富士・東部地域廃棄物対策連絡協議会でパトロールをしている。また、富士山レンジャー、地域ボランティア、住民からも情報を得て予算の範囲で処理している。町の清掃事業は5月30日のごみゼロの日に合わせて1万人の清掃活動のみである。

Q 町独自でふるさと納税、クラウドファンディングの資金を活用したドローン、防犯カメラ等での監視活動を強化する対応を提案するが町の見解は。

A 環境課長
ドローン、防犯カメラによる監視は近年注目されている取組であるが、効果的、継続的に監視ができるかどうか検証が必要である。広く賛同が得られるようであればクラウドファンディングの活用を検討していく。

Q 町では年間を通して計画的な清掃活動を行う必要がある。また、湖の水位が低下しているときに町が主導して湖畔の清掃活動を実施することが効果的であると思うが町の見解は。

A 環境課長
水位低下で目立つゴミは関係機関と連携し現状の把握に努めていく。

▶ 関連質問 井出 正広

Q 町道の脇に発生した雑草や、木の枝が交通の支障になっている箇所が点在している。交通安全の観点から至急対応することが必要だが、町の対策は。

A 都市整備課長
土地所有者に適切な管理を依頼しているが、交通の安全に支障を及ぼすような緊急の場合は町が対応している。

Q 湖の景観や環境に悪影響を及ぼしているニセアカシア、アシ等を湖が減水している状況下で除去することが作業や費用面で有効であるが町の見解は。

A 都市整備課長
湖畔の河川管理は山梨県の所管となっているので状況を確認し対応を要望していく。

▶ 関連質問 渡辺 美雄

Q 富士ヶ嶺地区では畜産農家の跡地や耕作放棄地への不法投棄が懸念されている。地区住民は町の積極的な監視活動や抑止対策を強く望んでいるが今後の対策は。

A 環境課長
富士ヶ嶺地区への産業廃棄物の持ち込みは把握していない。一般廃棄物の不法投棄については、年間、数回富士ヶ嶺地区の住民から問い合わせがあり職員が対応している。



不法投棄回収作業の様子



足和田バイパス等のインフラ整備の進捗状況について

Q 災害時の避難や物資の輸送、周遊観光などの面で効果が見込まれる勝山と長浜をつなぐ足和田バイパスの整備事業は地域住民からの強い要望を受け、町民クラブが主導して山梨県、町、関係機関に働きかけた結果ようやく着工の運びとなったとの情報を得ている。また、長浜と大石をつなぐ北岸の扇崎付近の湖岸道路の拡幅改良工事の早期完成も見込まれている。足和田バイパス整備事業と北岸湖岸道路の拡幅改良工事の直近の進捗状況は。

A 都市整備課長
富士・東部建設事務所吉田支所によると、足和田バイパス整備事業については、用地交渉と残土受け入れ先の調整を行っており、今年度末にトンネル坑口までの道路を発注する予定である。北岸湖岸道路拡幅工事については、旧北浜荘付近から大石保育所までの区間で電線共同溝の整備、道路拡幅工事を実施しており、令和7年度中に舗装工事の発注を予定している。また、扇崎の拡幅改良工事については、残り20mが未整備で、令和8年度の完成を見込んでいる。



足和田バイパス 大嵐側完成イメージ



足和田バイパス 長浜側予定地

Q 多くの町民が早期の着工を期待している。具体的な工事の場所や着手時期等について可能な限り速やかな情報提供が望まれているが町の見解は。

A 都市整備課長
県の事業であるため、県と情報を共有して情報提供をする。

Q 扇崎の県道拡幅工事については、地域の方からは生活に支障を来しているとの声を聞いている。令和8年度中の完成を目指して町が積極的に県に対して要望することを多くの町民が望んでいるが町長の見解は。

A 町長
早期の完成に向け要望していく。

▶ 関連質問 井出 正広

Q 大石の自然生活館周辺の交通の混雑状況は激しくなっている。その解決策として駐車場の増設や駐車区分の明確化のほかに町の抜本的な対策は。

A 観光課長
民間の駐車場を行事以外に利用できるようにした。また、民間事業者による湖上タクシーも計画されている。

▶ 関連質問 渡辺 美雄

Q 河口湖北岸の「留守ヶ岩」近くの通称「もみじトンネル」は、河口湖屈指の景勝地であり、撮影スポットとして多くの観光客が訪れている。隣接の駐車場は現在閉鎖されているが、安全対策を行ったうえで有効活用することを提案するが町の見解は。

A 観光課長
もみじトンネル付近の駐車場は、土砂の崩落が見られるため限定した期間と場所のみを開放している。崩落対策には多大な費用が発生するため慎重に検討していく。



一般質問者 古屋 実

一般質問

地域への恩返しの気持ちを忘れずに、今日よりも明日、明日よりも明後日の皆様が幸せと感じていただけるような富士河口湖町となるように質問を行う。

観光振興について

Q 今年の夏は、巨大地震のデマの影響があったと耳にする。インバウンドは様々な要因に左右されると感じた。4つの湖全てで花火大会ができたことに感謝する。6月議会で質問させていただいた、ホットスポットとの連携による精進湖の花火大会は新しい取組だった。これから秋の行楽シーズンを迎え、紅葉まつりがあるが、どのようなイベントになるか。

A 観光課長
富士山マラソンを12月に変更し、紅葉まつりは、11月1日から30日まで開催する。ライトアップを円形ホールまで延長する予定。

Q インバウンドで心配されているのが、白タク行為。白タクとの事故に対して住民も心配されている。警察に任せるだけでなく、町の対策を講じる必要があるのではないか。

A 地域防災課長
警察での取締まりが大前提となる。白タクについて情報が入った際は、関係機関と協力しながら情報提供することを考えている。町としても啓発活動に協力していく。

Q 地域経済の中心となっているのが観光。目的意識を持ち効果的なイベントを実施してほしい。来年度の予算編成前だが、来年度はどのような計画を考えているか。

A 観光課長
例年開催しているイベントを継続し、通年誘客を図れるように実施していく予定。

漁業振興について

Q 4つの湖がそれぞれの特徴を活かし多くのお客様が釣りを楽しんでおり、河口湖ではワカサギとブラックバスの両立ができることを願っている。遊漁税を徴収しているが、これまでの収入実績と使い道は。

A 地域防災課長
ここ5年間は、年間約900万円の収入がある。遊漁税は目的税なので、使い道が決まっており、遊漁券の印刷代やトイレの維持管理、看板の修繕が主な使い道。

Q 本栖湖では、レイクトラウトによりヒメマスに大きな影響が出ている。10月に予定されているレイクトラウト釣り大会の内容は。

A 農林課長
本栖湖のヒメマス釣りの復活存続を目指しレイクトラウト駆除促進および啓発を目的に開催する。岸釣り部門と湖上釣り部門があり、湖上釣り部門は、ボートと足漕ぎカヤックのホビー部門がある。現在185名の申し込みがある。レイクトラウトなどを食材にした食のイベントも開催する。

Q 湖の魚の特産品化によりふるさと納税の返礼品としても期待されるが。

A 農林課長
河口湖では漁協がワカサギの販売事業を強化している。特産品化へ必要な支援をしていく。



レイクトラウト釣り大会 (本栖湖)

小立地区の振興について

Q 小立地区の観光の中心である八木崎公園の活用は。

A 都市整備課長
駐車スペースの確保のため補正予算を計上した。小立地区だけでなく町全体の観光や交流の場となるように可能性を広げていきたい。

Q くぬぎ平スポーツ公園の雨水の影響があるか分からないが、小立公園墓地に雨水が入り込むという状況があった。ご先祖様に申し訳が立たない。くぬぎ平の雨水対策と公園墓地への影響は。

A 都市整備課長
くぬぎ平の雨水は地下に排水管を敷設し、雪解け沢への排水をしている。また、小立公園墓地への雨水の影響は、現時点で影響が特定されていない。

Q 六角堂は日蓮聖人の信徒によって建てられた文化財。現状と今後の活用は。

A 生涯学習課長
河口湖の減水により来訪できる状態。いたずらや破損を防止する対策を考えていきたい。



一般質問

一般質問者 堀内 詠子

環境美化とマナー啓発の強化

Q 富士山が世界文化遺産に登録されて10年以上が経過し、富士河口湖町はその麓の町として多くの観光客を迎えている。しかし観光地周辺ではポイ捨てやごみの放置が目立ち、住民からも環境悪化を懸念する声が上がっている。私も早朝の湖畔でペットボトルや弁当容器の放置を何度も目にしてきた。ユネスコの諮問機関イコモスは登録時、「観光客の急増による影響を踏まえ、環境負荷を最小限に抑えるための持続可能な管理体制と景観保護を強化すべき」と勧告している。町として、観光地周辺におけるごみ問題の現状認識と環境美化への基本的な考え方は。

A 環境課長
観光客によるごみのポイ捨てや放置は、町としても重要な課題であると認識している。本町は国内外から多くの観光客が訪れる国際観光地として、美しい景観と世界遺産の町を維持する責務を負っている。町では年1回の一万人の清掃活動の実施、自治会や各団体の協力による定期的な清掃活動が行われている。本栖湖では湖畔クリーンアップも実施され、一定の美化は保たれている。今後も地域住民、事業者、ボランティア団体と連携し、美化意識の醸成に努めるとともに、多言語対応の看板設置などによる啓発を進めていく考えである。

Q 清掃だけでは根本的な解決にはつながらない。ポイ捨てを減らすため、マナーの啓発や、悪質な行為へのルールづくりが必要ではないか。

A 環境課長
ごみのポイ捨ては解決の難しい問題であるが、多言語看板やSNSを活用した啓発を粘り強く実施していく。また、悪質なケースにはパトロールによる監視体制を強化し、観光地における利便性と治安のバランスを考慮し、ごみ箱の適正配置も検討している。

Q 啓発や監視は一定の効果があるものの、依然としてポイ捨てはなくなる。富士山の麓の町として、清潔で誇れる環境を守るために「ポイ捨て禁止条例」など実効性ある仕組みを検討すべきではないか。

A 環境課長
本町では既に「富士河口湖町自然環境を守り育む条例」を制定しており、ごみの投げ捨て禁止を規定している。ごみ問題は個人のモラルに依存する部分が多いが、美しい景観を守り快適なまちづくりを進めるため、町民や観光業者と連携し、共に努力していく考えである。

多文化共生社会の課題

Q 外国人による土地取得が増加し、地域の景観や生活環境、防犯への不安が高まっている。農地の荒廃や空き家の増加も懸念される。地域資源を守るため、町として情報公開や住民意見の反映など、どのように対応しているのか。

A 政策企画課長
現行法においては外国人の不動産取得に特別な規制はなく、市町村が売買を把握・公開する仕組みも存在しないため、情報提供や説明会の開催は困難である。一方、町では「空き家バンク」事業を通じ、登録審査や現地確認、面談などを行い、安心できるマッチングを図っている。今後も国の動向に注視し、規制強化が行われた際には迅速に対応する考えである。

民泊利用における課題と対策

Q 近年、町内でも空き家を活用した民泊が増加しているが、住宅地では住民との摩擦や不安が生じている。民泊活用者が事前に相談や調整を行うための窓口や手続きは整備されているか。

A 環境課長
民泊は、住宅宿泊事業法（民泊新法）に基づき、県の衛生薬務課に直接届出を行う仕組みであり、地区の同意は不要である。県は許可時に事業者へ近隣説明を促す注意文書を送付している。町としては、苦情の増加を受け、ゴミや騒音対策をまとめたチラシを事業者へ配布しており、今後は町ホームページでも情報発信を検討している。

Q 情報提供だけでは住民との合意形成には至らない。他地域ではガイドラインや事前協議制度を設けている。本町でも検討すべきではないか。

A 環境課長
条例制定の権限は県にあり、県では現時点で条例の必要はないとの見解である。町としては、引き続き県に対して必要性を訴えつつ、他地域の先進事例を参考に、住民と事業者のトラブルを未然に防ぐための支援と啓発を進めていく考えである。



一般質問者 佐藤 安子

一般質問

少子化に歯止めを

Q 経済的支援に相談支援と、子育てしやすい環境は手厚くなっているが、日本の出生数は減り続けていて、少子化対策の効果はまだ見えていない。子どもを産みたい、育てたいと考える方々にこれらの支援が届き、少子化に歯止めをかける必要がある。当町の出生数の推移と本年の見込み、町長の少子化歯止め対策は。

A 子育て支援課長
10年前の平成28年は233人、令和6年173人と、少しずつ減少傾向だったが、令和7年7月までの人数が118人と、200人前後を見込める状況となっている。

A 町長
前町長の時代から、未来を担う子どもたちの健やかな成長、子育てを応援する温かい町の実現に取り組み、子どもを産み育てていく環境を整備、支援することを継続していて、子育てを全面的にバックアップしてきている。

外国人が安心して暮らせる町に

Q 町の基幹産業である観光などのサービス業に多くの外国人が就業している。住民登録している外国人の年齢別と国別のデータ、また、その方々への住民サービスはどのように対応しているのか。

A 政策企画課長
外国籍の住民登録者数は、8月1日時点で1,267人。全住民に対する比率としては4.66%、22人に1人の割合。働き盛りの20代から30代が70%超えの920人余り。国別ではネパール、ベトナム、中国で約70%を占めている。昨年度から日本語教室を開催し、単に言語を学ぶのではなく、交通マナーやルール、病院での症状の伝え方、災害時の対応についてなど、生活に関するテーマを取り上げ、外国籍住民の方々が安心してこの地域で生活できることも目的の一つとしている。

環境問題をもっと身近に

Q 令和7年第2回富士・東部広域環境事務組合議会定例会が8月7日に招集された。令和14年度に供用開始予定の広域ごみ処理施設の準備は、企業用地取得状況も含め、着々と進行している。今回、施設規模見直しについて説明があり、ごみ排出量の目標値の再設定で、全ての市町村で目標値を基準年度より12%削減となった。町民への周知は。

A 環境課長
1人当たり年間4キロ、また、1事業者当たり790キロの削減が必要となっている。まだまだ目標達成には町民や事業者の協力が必要不可欠であり、可能な限りの減量化の施策を検討し、町民や事業者にお願いをしていきたい。

子どもたちの学ぶ環境は

Q 老朽化による学校施設改修とともに給食センター化について、少子化による統廃合、そして酷暑による体育館空調設備の設置など、全てが同時進行である。具体的に進めるときだと思うが、町長の考えは。

A 町長
関係者や専門家の意見を幅広く取り入れながら、具体的な計画、またスケジュールを示し、透明性のある取組を進める。子どもたちの未来のために、町の宝である子どもたちが安心して学べる環境を整え、このことを最優先に全力で取り組む。

ラストワンマイル地域公共交通は

Q 昨年3月議会において、これからの公共交通について質問させていただき、町長からは、「自らが行きたい場所へ自由に行ける環境を整え、移動した先で自分のしたいことができる」といった住民サービスの提供に価値がある。」と答弁をいただいた。この課題解決の進め方は。

A 町長
高齢者や交通弱者を含む全ての町民がどこにいても自由に外出できるよう移動手段を確保することは、公共交通の構築を目指す上で、非常に重要になると考える。さらに、観光地である当町での公共交通の在り方は、観光客の移動と町民の移動のそれぞれが利用しやすい手段として、交通事業者を交えた中で構築していくことも同時に考えていかなくてはならない。富士河口湖町の公共交通を考える場として、公共交通会議の開催に向け、課題についての調査研究、さらにはまだ見えていない課題の発掘やその解決に向けて取り組んでいきたい。



一般質問者 山下 利夫

一般質問

小中学校の入学準備金の実施を

Q 物価高騰のもとで、教育費の負担はさらに大きくなっている。富士河口湖町では、学校給食の無償化など保護者負担の軽減を実施しているが、さらなる支援の拡充が求められている。特に、小中学校に入学するときには、ランドセルや制服など多額のお金がかかる。「子どもの入学準備にだいたい10万円はかかる」「入学が重なると2倍になる」など、大変切実である。全国では、全児童・生徒への入学準備金を実施する自治体が増えており、富士河口湖町でも実施を。

A 学校教育課長
町では、学校給食の無償化など、保護者負担の軽減に努めている。しかし、近年の物価高騰のもとで、学校給食の食材費など教育関連のコストが増加している。そのため、全児童・生徒への入学準備金の実施は、現時点では対応が困難である。

水道の基本料金の減免を

Q 物価高騰のもと、多くの町民から「税や公共料金の負担を減らしてほしい」などの声が寄せられており、さらなるくらし支援策が必要である。

富士吉田市は、今年8月から来年3月までの上水道基本料金を減免している。全国的にも、水道基本料金の減免を実施する自治体が広がっている。当町では、2か月の水道基本料金減免を行う場合、必要な財源は約2000万円であり、一般会計の基金の活用などにより確保可能である。水道基本料金の減免の実施を提案する。

A 町長
町では、商品券の配布など物価高騰対策に力を入れてきた。日本経済の動向、国や県の補助制度の状況を注視しながら、町民生活の安定につながる施策を引き続き検討し効果的に実施していく。

駅南側の開発計画 周知と安全対策を

Q 交通事業者による「河口湖駅跨線橋・南口バスロータリー新設計画」(以下、駅南側開発計画)が提案されている。これについて次の2つの対応を求める。

1つ目として、駅南側の道路は、バスのすれ違いが困難な道幅しかないことに加え、生活道路、通学路となっており、保育所もあるため、学校、保育所、保護者、近隣住民に十分説明し、警備員の配置などの安全対策を求める。

2つ目として、駅南側開発計画の内容について、県道船津小海線の延伸計画(駅南側の道路拡幅等)の進捗状況と合わせて、全住民への説明会の実施を求める。



河口湖駅南側の道路

A 都市整備課長
1つ目について。駅南側の安全対策として、学校や保育所にも説明を行いながら、グリーンベルトなどの設置、通学時間や保育所のお迎え時間などの交通誘導員の配置などについて、バス事業者と協議を行っている。

2つ目について。県道船津小海線の延伸計画は、町で都市計画道路の見直しを行っており、町民の意見聴取と周知を行っていく。駅南側開発計画の説明会は、町土地開発行為等の適正化に関する条例にもとづき、近隣住民に対して行っている。全住民への説明は、必要に応じて対応していく。

放課後児童クラブの夏休みなどの昼食提供を

Q 「共働きなので、夏休み中にお弁当を用意するのが大変」「暑い夏は、おかずが傷まないか心配で、野菜を控えている」などの声は切実である。国の調査によれば、長期休業中に昼食を提供している放課後児童クラブ数は、2990か所(22.8%)ある。町でも実施を。

A 子育て支援課長
運営に携わる児童支援員は、小学校の通常期間中は短時間勤務、長期休業期間中は通常勤務という不規則な勤務内容になるため、支援員確保に苦慮している。そのため、食物アレルギーなどへの十分な対応ができない。今後は、支援員の確保に努める中で、実施市町村の状況を参考に、協議を重ねていく。



少し前の話になりますが、東京オリンピックの事前合宿を当町で行ったフランストライアスロンチームが、2018年5月に開催された世界トライアスロンシリーズ横浜大会に出場するにあたり、町役場による応援ツアーの募集がありました。妻と二人で応募したところ幸運にも当選し、当時の副町長、政策企画課長の先導のもと、世界のトップアスリートによるスイム、バイク、ランの迫力あるレースを観戦することができました。特にバイク競技に関心のあった私は、スピードと技術に魅了され、大変興奮したことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、自分がトライアスロンに挑戦するなど夢にも思っていませんでしたが、その後、富士河口湖町でもトライアスロン大会を開催する計画があると耳にしました。翌年、山梨日日新聞で「富士河口湖町トライアスロン大会開催決定」という記事を拝見し、リレー部門があると知って出場を決意。スイムは勝山在住の流石氏、ランは次男の国明とチームを組み、第1回大会に挑みました。

しかし、前日受付を済ませた直後、スイム担当が新型コロナウイルスに感染したことが判明し、残念ながらバイクとランのみの参考記録に終わりました。翌年はリベンジに燃え、再びリレー部門で出場し、第2位という好成績を収めることができました。その時、3種目すべてを一人でこなす選手たちの姿に深く感銘を受け、「高齢ではあるが、自分も個人で挑戦してみよう」と決意しました。

まずはランから鍛え直し、早朝6キロのウォーキングを2か月、続いてスロージョギングを3か月、さらに1キロを5分13秒ペースで走れるまで練習を重ねました。スイムは妻の指導を受け、週1回町民プールで練習し、2キロを泳ぎ切れるようになりました。

迎えた大会当日、晴天に恵まれ、スイムを無難にこなし、得意のバイク、ランでは両脚が攣るアクシデントにも見舞われましたが、家族の声援に支えられ無事完走することができました。

このような素晴らしい環境で新たな挑戦ができたこと、そして、この町に住み、この大会に関われたことに深い誇りを感じています。関係各位に心より感謝申し上げますとともに、富士河口湖町ならではの大会が、これからも末永く続いていくことを願っております。

議会 見・聞・録

9月議会で、町が町民プールの指定管理者ブルーアース社に対して委託料約440万円の返還を求める件についての議決がありました。ブルーアース社の元従業員が、5年間に渡り利用料を着服していた問題に端を発したものです。CATV、新聞記者3名の他、多くの傍聴者が注視する中、議場には記者のカメラのシャッター音が鳴り響き、物々しい議会となりました。議決は賛成多数で「和解」となりました。私は、着服の事実が判明した後も当該企業との契約を継続している点、返金さえすれば許される免罪符になる点において、今回の議決には大いに疑問が残る感じました。

また、議会開催の平日の日中は、多くの住民が仕事をしている時間帯であり、今後は、議会の動画配信が必要不可欠であると思います。南アルプス市、都留市をはじめ、富士河口湖町よりも小規模な市川三郷町、富士川町、山中湖村議会でもすでに動画配信が運用されています。住民の知る権利を守り、議会の透明性を高めるためにも、早急に取り組んでいただきたい課題の一つです。

(富士吉田市在住 40代女性)

編集 後 記

9月の町議会選挙後、初めての「議会だより」をお届けできることを嬉しく思います。

日頃より、町政ならびに議会活動に温かいご理解とご協力を賜っております町民の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今号では、令和6年度決算の審議をはじめ、代表質問、一般質問の内容を中心に、町の現状と今後の方向性についてお伝えいたしました。

議会で交わされる意見や地域で伺う皆さまの声を大切にしながら、一步一步、確かなまちづくりを進めてまいります。

今後とも、「議会だより」を通じて町政をより身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、皆さまからのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

(渡辺 聖一)

編集：議会広報常任委員会

委員長：渡辺 聖一 副委員長：中村 正明

委員：楽満 一生、五味 菊広、堀内 詠子

古屋 実、外川 満、山下 利夫